



REAL VOICE

児童虐待を経験した若者達のドキュメンタリー

第一部 施設を巣立った若者の声を聴く 映画RealVoice上映

6月18日 日曜日 | 3時30分開演 児童養護施設福音寮ホール

公開講演会(シンポジウム) 若者の声を聴く
若者支援のためのシェアハウスの今とこれから

第二部シンポジウム 若者支援のためのシェアハウスの今とこれから

シンポジスト Masterpiece代表/子どもの声からはじめよう理事 シェアハウス運営 菊池真梨香 氏

ACHAプロジェクト代表/THREEFLAGS-希望の狼煙 映画RealVoice製作監督 山本 まさこ 氏

主催 特定非営利活動法人

若者の自立支援すみれブーケ



社会福祉法人

福音寮



社会福祉法人

福音寮

後援 烏山地区社会福祉協議会

開催日時 2023年6月18日(日) 開場13時 開演13時30分 終演16時予定

場所 児童養護施設 福音寮ホール(先着100名) + Zoom配信(300名予定)

参加 無料 *映画製作や若者自立支援基金・シェアハウス運営への投げ銭方式(寄付金=任意)

*投げ銭振込先(当日会場でも受付) 寄付先(RealVoce上映協力金・すみれブーケシェアハウス・福音寮若者支援基金)を明記の上

三菱UFJ銀行 上北沢支店 普通口座 0092170 トクヒ)ワカモノゾリツシ。

申込期限 2023年5月28日(日) 定員に達し次第終了

*申し込み先 NPOすみれブーケ Email: smilebouquet2014@gmail.com

*ホームページでも受け付けています。氏名・所属・連絡先アドレス等明記の上 <https://4people.jp/smile2023/>

*第四 日曜日開催「みんなのさくらチャリティーマルシェ」会場(桜上水公園前みんなのおうち保育園前)でも受付いたします。

*問い合わせ先 NPOすみれブーケ担当理事 内田 080-5092-7991



申し込み先QRコード

公開講演会 「若者の声を聴く 若者支援のためのシェアハウスの今とこれから」

2023年6月18日(日曜日)福音寮ホールにて開催 会場参加+On Line配信

主催 特定非営利活動法人 若者自立支援すみれブーケ・社会福祉法人 福音寮 後援 烏山地区社会福祉協議会

NPOすみれブーケ・社会福祉法人福音寮が毎年開催してきている公開講演会です。すみれブーケが運営するケアリーバー(児童養護施設を巣立った若者)のためのシェアハウスは、児童養護施設福音寮を退所した若者が住処に困りボランティア活動で住処の提供をしたことが始まり。この活動を継続的にと有志を募りNPO化。現在、児童養護施設や親などに頼れない若者の自立支援を目的としたシェアハウスは、篤志家のご協力など経て二軒を運営しています。



第一部「若者の声を聴く」ドキュメンタリー映画「RealVoice」上映

上映される映画は、ケアリーバーの「大人になっても、虐待の苦しみは終わりじゃない」のメッセージを伝えるため、虐待を受けて施設などで育った若者に密着したドキュメンタリー映画「REALVOICE(リアルボイス)」。

監督は、児童養護施設出身(ACHAプロジェクト代表/THREEFLAGS-希望の狼煙)山本まさこさん。山本さんの協力で、今回の上映をすることができました。

厚生労働省21年調査では、ケアリーバーの23%が「家計は赤字」で、現在困っていることや不安なこととして30%が「生活費や学費」「将来」「仕事」をあげている。施設後の彼らは、身近に頼れる大人もいなくなり、経済的・精神的にも問題を抱え、施設職員との交流は31%が「1回もない」。だれにも頼れない彼らの姿が浮き彫りに。この映画は、そんな20代を中心とした全国50人の若者を取りあげ、その声を発信。彼らの声は、シェアハウスに来る若者たちの声でもあります。

若者の声を聴くことの大切さ。この春に施行された子ども基本法では、「自己に直接関係する全ての事項に関して意見を表明する機会及び多様な社会的活動に参画する機会が確保される」としています。この映画を見て、若者の声を聴くことから始めたい!そして、彼らが自己選択・自己決定をすることが自立への第一歩です!

第二部 シンポジウム 若者支援のためのシェアハウスの今とこれから

シェアハウスにくる若者たちの現状などを、埼玉県や千葉県でケアリーバーたちのためのシェアハウスの運営や彼らの居場所支援、相談支援を展開されている(Masterpiece代表/子どもの声からはじめよう理事)菊池真梨香さんからお聞きし、子ども基本法や児童福祉法改正(児童養護施設などの22歳以降の継続的措置可能)などの社会的転換期のシェアハウスの在り方などを伺います。



また、映画の監督でもありシェアハウス経験者でもある山本まさこさんにも登壇してもらい、若者たちの声を活かすシェアハウスの在り方などを、討議していきたいです。

シェアハウスは、法的な制度でないために運営はそれぞれの法人などにより様々です。そのシェアハウスで暮らす若者たちは様々なハンディを抱え、それにとまなう課題を抱えています。シェアハウス運営では、これらの課題や問題に向き合い、若者たちの声を聴くことはもちろんですが、自立に向けてのサポートも大切になってきます。若者の自立をサポートするシェアハウスの今とこれからをお二人と討議して、すみれブーケの運営するシェアハウスのこれからを一緒に模索していきたいです。



公開講演会を通じて、ケアリーバーたち(サポートの必要な若者)の声を聴き、彼らをサポートするシェアハウスの役割と課題、そしてこれからをご一緒に考えていただけましたら幸いです!